

# 昭和支部ニュース

昭天瑞民商 昭和支部発行 2025/10/14 第21号

## 新入会員歓迎会開催

10月3日、御器所夢の蔵店にて、2名の新入会員の方をお迎えし、15名の参加で支部主催の歓迎会を行いました。

お一人は最近、法律事務所を開設された新進気鋭の弁護士の方で、昭天瑞民商の顧問弁護士もお引き受けいただいています。もうお一人は行政書士事務所を経営されていてこれまで他民商の会員でしたが、ご自宅の昭和区に事務所を開設される関係からこの度転籍で昭和支部に来られた方です。

お二人とも子育て真っ最中の若い方でこれからの昭和支部に大いに力になってくださるものと思います。



(挨拶をする新入会員の方と参加の皆さん)

## 婦人部小集会開催

9月19日、4名の参加で婦人部小集会を行いました。国保改善要求などの署名の取り組みでこの日までに合計約210筆の署名を集約し、県代表がこれを持って9月25日の全国業者婦人決起集会と国会請願に行きました。次回婦人部小集会は

日時:10月24日(金)11:00～

場所:喫茶ダッチさんにて

是非ご参加ください。

## 国保学習会 & 相談会

10月5日、吹上コミセンにて愛知県社会保障推進協議会の澤田和男氏をお迎えし、9名の参加で国保に関する学習会を行いました。

中日新聞でも紹介され、1600人から注文があったという「知らないで大損、知って得する医療、介護、税金の負担軽減策」(2025年度版)をテキストにわかりやすく説明をしていただきました。

国民健康保険は社会保険と比較した場合の保険料の高さに加え、傷病手当や出産手当がないなどの差別的な扱いがそもそも問題ですが、家族が増えたらその人数分の均等割りが増えるなど過酷な制度となっています。それにもかかわらず名古屋市では私たちの運動で「高額医療費受領委任払い」などの他県市にはない制度を作らせてきた実績もあります。

あまり知られていないことに、申請することで保険料の所得割が減免になるという制度があり、その対象者は全体の4割にもなるそうです。自分の保険料が高いと思われる方は納付書を手元に民商までご連絡ください。国保に精通した担当者が丁寧に対応いたします。

## 編集後記

約3か月ぶりの支部ニュースとなりました。支部の活動を伝え、身近な情報ツールとなるべきニュースですが、なかなか発行に至らなかったのは暑さのせいと私の怠慢でした。今後は支部活動をもっと活性化させ、毎月発行を目指します。(by 支部長)

